

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間 : 令和5年4月1日 から 令和6年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立フォレストガーデン	
(2) 施設の設置目的	
市民に身近な自然に親しみ、農業体験を通して健康で活動的なレクリエーションを行う場を提供するとともに、自然緑地の保全と活用を図り、農業の振興に資するため	
(3) 所管部局	
産業振興局 農政部 農水産課	
(4) 指定管理者名	
みんなの里山倶楽部 (特定非営利活動法人ASUの会、一般社団法人堺南すこやかファーム推進会、一般社団法人泉北レモンの街ストーリー、泉北エンタープライズ株式会社)	
(5) 指定期間	
令和4年4月1日から令和9年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
- 施設の運営に関する業務 - 施設等の維持管理に関する業務 - 市民菜園に関する業務 - 里山エリアの活用に関する業務 - 施設の収穫物を活用した地産地消を推進する業務 - 施設を活用した農福連携の取組	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
スポーツ・レクリエーション施設	有 (徴収委託)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
堺市民、菜園利用者	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
無	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	・堺市立フォレストガーデン指定管理者協定書及び仕様書に基づき、施設使用者の安全確保に努めたが、1件事故が発生した。発生後、即座に策を講じ再発防止に努めている。 ・作業員、参加ボランティアを対象に使用機器の安全講習を行うなど事故防止に努めている。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	・菜園、里山、緑地管理それぞれに作業チームを編成し、目の行き届く管理を行っている。 ・共用農具については定期的に点検整備を行い安全な利用促進に取り組んでいる。 ・毎朝全エリアの点検巡回を実施し、不具合点の発見、対応に努めている。
施設の設置目的に沿った事業の実施	・年度事業計画書に則り、すべての自主事業を実施した。フォレストガーデンを知らなかった、来たことがなかったという市民が多く参加し、新たな交流が生まれた。 ・中でも「フォレストガーデンフェスタ」は地域に密着した恒例行事としての定着に取り組んだ。
その他特筆すべき取組	・レモン植樹を含めた里山活性化計画を作成し、竹林を計画的に整備した。整備の工程で発生した竹を素材に使い、ワークショップを実施したところ、堺市全域より参加者が集まった。 ・多くの市民が親しみを持ってフォレストガーデンを訪れる憩いの場づくりに取り組んでいる。

イ 市による状況分析

除草等の維持管理については技術不足等により、不十分な点が見られるが、実施回数を増やし、改善を図っている。
また、親子層に向けた自主事業を実施することで、新規の客層を開拓し、施設の活性化を図っている。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指定管理者名	特定非営利活動法人グリーンカマムロ	特定非営利活動法人グリーンカマムロ	みんなの里山倶楽部	みんなの里山倶楽部	みんなの里山倶楽部
利用者数(単位:世帯)	178	181	193	168	—
稼働率(単位:%)	62.7	64.0	68.0	63.0	—
利用者満足度(単位:%)	79.0	88.0	95.0	—	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進、自主事業	・栽培初心者への手厚いフォロー、栽培指導に取り組み、徐々に若年層の利用者が増えてきている。利用者年齢層の若返りを図る取組をさらに広げることで、老若男女が親しめる菜園をめざしている。
意見・苦情・要望等への対応	・令和4年度菜園利用者アンケートの結果を踏まえ、誰でも等しく菜園生活を楽しめる環境づくりに取り組んだ。 ・禁止行為の周知を広く行い、違反者への注意を繰り返し行った結果、大半の利用者の理解を得ることができた。 ・菜園使用者にアンケートを実施し、その結果に基づき、菜園の申込方法の変更を行ったが、使用申込数が減少した。アンケートは回答したものの高齢化に伴い使用を取りやめる使用者が増える等、新たな課題が見つかったため、今後に向けて市民が参加しやすく、使いやすい区画構成、申込方法を検討していきたい。
その他特筆すべき取組	・高齢者の「居場所」としての菜園の整備、環境にやさしい野菜栽培法の提案などを積極的に行った。

ウ 市による状況分析

・高齢化により市民菜園利用者数が減少し、稼働率が目標値に到達しなかったが、有機栽培等の近年注目が高まっているコンテンツを取り入れ、農業初心者や若年層へのアプローチを実施している。
・会議等において新たな施策の構想や提案を行う等、状況の改善に積極的であるが、費用やスケジュール、エビデンス等の具体的な情報収集とデータ分析が必要である。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	【参考】令和5年度(予算)
指定管理者名		特定非営利活動法人グリーンカマムロ	特定非営利活動法人グリーンカマムロ	みんなの里山倶楽部	みんなの里山倶楽部	みんなの里山倶楽部
収入	指定管理料	17,824,074	18,312,000	11,957,000	16,691,885	17,500,000
	利用料金	—	—	—	—	—
	負担金	—	—	—	—	—
	その他	11	12	4	49	—
合 計		17,824,085	18,312,012	11,957,004	16,691,934	17,500,000
支出	人件費	13,127,414	12,853,524	5,552,780	5,232,179	5,377,000
	委託料	174,800	251,800	1,472,596	1,754,285	1,245,000
	総支出額に占める委託料の割合	1.0%	1.4%	12.2%	10.6%	7.1%
	修繕費	10,931	312,710	61,540	121,856	120,000
	光熱水費	965,412	924,119	986,472	899,274	750,000
	その他	3,355,195	3,918,562	4,038,370	8,618,107	10,008,000
合 計		17,633,752	18,260,715	12,111,758	16,625,701	17,500,000
収支差額		190,333	51,297	-154,754	66,233	0
(市への納付金の額)		—	—	—	—	—
(徴収委託の場合の徴収額)		1,565,000	3,861,875	2,688,750	3,347,875	—

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	【参考】令和5年度(予算)
収 入	237,475	61,655	248,083	274,974	375,000
支 出	163,419	60,327	135,555	140,908	321,200
収支差額	74,056	1,328	112,528	134,066	53,800
(市への納付金の額)	—	—	—	—	—

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務等	・多くの市民、ボランティアの参加による管理作業、障がい福祉サービス事業所による除草、清掃作業の取組など多様な市民が力を合わせて維持管理を実施し、最少の経費で、最大の効果を発揮できるよう努めた。
-------------	--

ウ 市による状況分析

- ・市民による市民のための施設をめざし、多くの市内団体と連携し、日々の施設維持管理に努めている。
- ・収入と支出のバランスを保ち、安定的な運営を実施している。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
事故発生件数	0件	1件

■利用者サービスの向上

指標	目標	実績
市民菜園使用率	85%以上	63%

■収支

指標	目標	実績
収支のバランス	単年度収支黒字の確保	黒字66,233円

イ 市による状況分析

- ・作業中の確認が不十分であったことから軽易な事故が1件発生したが、適切に事後対応を行い、事故防止策を講じた上で、平常通りの運営を速やかに再開している。
- ・菜園を長年使用していた市民の高齢化により、使用率は低下したが、若年層や子育て世帯を意識した改善策を積極的に実施している。
- ・収支について、適切なバランスで運営できている。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	C	B
評価の理由	・定期募集以降、随時募集を常時実施することで菜園の使用率は上昇傾向にあるが、高齢化に伴い、使用を取りやめる使用者も増加しており、まだ目標値には達していない。	・目標に届かない部分もあるが、市民菜園や里山エリアを利用し、若年層等に向けた取組を実施することで、施設全体の集客・活性化に寄与した。 ・管理運営について技術や経験不足の点もあるが、作業回数を増やす等、概ね仕様書通りに実施できている。
今後の取組	・SNSでの情報提供頻度を増やし、初心者でも取り組みやすい菜園をアピールし若年層の参加を促進する。	・目標達成に向けて、菜園教室や自主事業等の取組の継続に期待する。 ・草花の観賞に適した除草や剪定等、施設の魅力を活かした管理運営の実施に期待する。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの